

事業番号	05 06 10		事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	母子保健推進事業					担当課	部局	健康福祉部	
							課・局・室	保健・疾病対策課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail		boshi-shika@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	7－2 子育て先進県の実現							
		3 子育て支援体制の充実			実施期間	S63 ～			
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針		2－2若者のライフデザインの希望実現						
	施策展開		1－（１）結婚・出産・子育てへの支援 イ 出産・子育ての安心向上						

1 事業の概要

目指す姿	不妊に悩む者、思春期特有の問題に悩む者等が、相談あるいは医療等必要な支援を受けることにより身体的、精神的な負担が軽減される。 若者への妊孕性教育を実施し、身体的・精神的負担の少ない健やかな妊娠・出産に寄与する。											
現状 (予算編成時)	・生殖補助医療は、急速な技術進歩がなされ、着実に普及してきている。しかし人工授精や体外受精の成功率が低いことなどから不妊に悩む方にとって、身体的、精神的に大きな負担となっている。 ・若者等が予期せぬ妊娠をしたとき、専門的アドバイスを受けられる窓口がないため、相談できないまま一人で悩み、納得のいかないまま人工妊娠中絶を選択したり、支援体制が整わないまま出産に至ることが懸念される。											
県が関与する理由	県関与の必要性あり				【左記の説明、根拠法令等】							
	県民との協働による実施： 実施中				母子保健法第9条 母子保健医療対策等総合支援事業実施要綱(国)							
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)											
	・ライフデザインセミナー受講者数20,000人(県内高校3年生数概算) ・不妊専門相談センター相談件数260件(過去3年平均) ・思春期ピアカウンセラー養成講座修了者数569人(10圏域各3名程度養成)											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29				
						(当初)	(決算)	(当初)				
	妊娠・出産相談支援事業		直接委託	妊娠・出産に関する相談対応、若者へのライフデザインセミナーによる普及啓発 (委託先:長野県助産師会及び長野県看護協会)		2,432	2,148	2,907				
	女性の健康ライフ支援事業		直接委託	女性の健康や不妊・不育症の悩みに関する相談対応 (委託先:長野県看護協会)		1,234	1,206	1,250				
	思春期保健事業		直接	思春期特有の悩み等への対応、思春期ピアカウンセラーの育成		328	297	328				
					合計	3,994	3,651	4,485				
事業コスト	区 分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	3,757	3,994	4,485				目標	成果	達成状況	
		補正予算		111								
		合計(A)	3,757	4,105	4,485							
	Aの財源	一般財源	2,042	2,161	2,409							
		県 債										
		国庫支出金	1,715	1,783	2,076							
		その他	0	161	0							
	決 算 額(B)		3,378	3,651								
	概 算 人件費	職員数(人)	1.80	2.00	2.00							
		概算人件費 (C)	14,897	15,828	15,828							
	概算事業費(B(A)+C)		18,275	19,479	20,313							
目標に対する成果の状況	・妊娠・出産に関する相談は年々増加し、平成27年度から開始したライフデザインセミナーは計18,971名が受講している。ライフデザインセミナーについては、目標は未達成であるが文科省においても実施しているところである。 ・不妊専門相談件数は年々増加し、相談内容も複雑化し、求められる相談員の専門性も高まっている。晩婚化・晩産化傾向のため妊娠・出産に対する不安感等の相談が増加し相談件数は目標を達成している。 ・思春期ピアカウンセラー育成は21名が養成講座を受講した。平成27年度から講師の都合等により年2回から1回の開催となったため、目標の養成者数は未達成となった。											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
妊娠・出産に関する相談事業はH29に電話相談の受付時間を拡充して実施し、結果を検証した上でH30以降の実施方法を検討する。 不妊専門相談センター事業及び思春期ピアカウンセラー育成は現行どおり実施。	